

患者1000人アンケート分析

協力=病院の通信簿
 調査期間 2010年5月25日～6月7日
 調査方法 病院の通信簿の会員を対象にインターネット上で実施(匿名)
 回答者数 1,052人(男504人、女548人)

Q1. あなたはこれまでに
**医師への「心付け」(謝礼)を
 したことがありますか?**

(現金以外に商品券等も含む)

ない
876人(83.27%)

Q2. Q1で「ある」と答えた方にお聞きます。
**心付けの金額は
 いくらくらいですか?**

(複数回答あり)

ある
176人(16.73%)

5,000円未満	60人
5,000円以上1万円未満	34人
1万円以上5万円未満	76人
5万円以上10万円未満	14人
10万円以上	15人

8割が「謝礼」の経験なし 最多は1万円以上5万円未満

医師への心付け(謝礼)について聞いたところ、意外にも8割以上の患者が過去に経験がなく、アンケートで初めてこの言葉を聞いたという人もいた。心付けをしたことがある患者のうち、金額の内訳は1万円以上5万円未満が76人で最多。5000円未満が60人で続いたが、10万円以上も15人いた。なかには「教授の執刀を希望する条件として、100万円を渡した」という患者や「医師からそれとなく要求され、50万円を渡した」という患者もいた。

心付けの賛否を聞いたところ、5%が賛成した。理由として「お世話になったら渡すのは当たり前」、「感謝の気持ちとして、お菓子程度を渡すのは構わない」、「海外のチップに相当するのではないかと」の意見があった。

反対は約4割で、「対価として医療費を既に支払っており、それ以上は必要ない」、「心付けの金額で、治療のレベルが変わることが

あつてはならない」、「金額で左右される医師は信用できない」と、心付けの「慣習」自体の廃止を求める声が強かった。

一方で、どちらともいえないという回答も5割を超えた。「自分は反対だが、命にかかわる手術を受ける立場になったらわからない」、「安易な心付けは反対だが、難しい手術が成功した時の技術料なら構わない」との意見や、「大学病院は予想外に医師の給与が低いと聞いた。十分な報酬が得られないから、心付けでカバーをする医師が出てくる」、「心付けがないと、運営が立ち行かなくなる病院もあるのではないかと」、「激務の医師を見ていると、応援したくなるのも人情」との意見もあった。

◆病院の通信簿とは
 会員数30万人、1日平均アクセス数2万件を誇るマンモスサイト。匿名の患者アンケートから待ち時間、医師の印象、看護師の態度、待合室の快適度など、医療機関を15項目ごとに5段階評価し、「リーダーチャート」にまとめてネット上に掲載。日本人になじみの深い通信簿形式で注目を集める。
<http://www.tushinbo.com/>